

2021年6月30日

暮らし向きや消費に関する調査について

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

[調査の概要]	
調査目的	県民の暮らし向きや収入、支出動向を調査し、消費の現状を把握するとともに、今後の消費がどのように変化していくか見通しを示し、卸・小売事業者などの事業活動に利用してもらうことを目的とする。
調査時期	2021年5月中旬
調査対象	鹿児島銀行の県内本支店窓口来店者
調査方法	回答者本人が記入(無記名式)
回答数	有効回答数 718人

用語 D.I. = 「良い(良くなる)」-「悪い(悪くなる)」、「増えた(増える)」-「減った(減る)」、いずれも回答割合

【調査結果のポイント】

- 現在の暮らし向きについては「普通」が 70.6%と最も多く、次に「良い」15.3%（「良い」と「どちらかというが良い」の合計）、「悪い」14.1%（「悪い」と「どちらかというが悪い」の合計）の順となった。その結果 D.I.は 1.2 となり、前回調査（2020年6月）の▲10.0 から 11.2 ポイント改善した。
- 今後の暮らし向きについて、D.I.は▲17.2 と前回調査（▲38.4）から大幅に改善した。改善はしたものの、依然としてマイナス圏内で推移しており、**現在の暮らし向きよりも見方は厳しい。**
- 新型コロナウイルス感染拡大以降、コロナ前と比較して、「水道光熱費」「ネット配信サービス」等の支出が増加した一方、「外食・交際費」「交通費・旅費」等の支出は減少した。
- 新型コロナウイルス収束後の支出の変化については、増やす・増やしたい品目は、「交通費・旅費」(52.9%)、「外食・交際費」(51.6%)、「貯蓄・投資」(30.1%)が多く、減らす・減らしたい品目では、「水道光熱費」(23.3%)が最も多かった。

回答者属性

【性別】	男性	37.2%	女性	62.5%	不明	0.3%										
【年齢別】	10代	1.3%	20代	17.1%	30代	18.5%	40代	23.3%	50代	20.2%	60代	12.7%	70代以上	6.8%	不明	0.1%
【職業別】	会社員	63.1%	自営	7.9%	公務員	4.3%	団体職員	4.3%	その他(主婦・年金生活者等)	16.6%	不明	3.8%				

1. 暮らし向きについて

(1) 現在の暮らし向き

現在の暮らし向きについては「普通」が70.6%と最も多く、次に「良い」15.3%（「良い」と「どちらかというが良い」の合計）、「悪い」14.1%（「悪い」と「どちらかというが悪い」の合計）の順となった（図表1）。その結果D.I.は1.2となり、前回調査（2020年6月）の▲10.0から11.2ポイント改善し、2期ぶりにプラス圏となったものの、コロナ前の水準（19年4月）の6.9には及ばない。

新型コロナウイルスの収束が見通せない中、不透明さは残るものの、ワクチン接種進行による景気回復への期待もあり、消費マインドは持ち直しの動きがみられた。

D.I.を年代別にみると、40～50代及び70代以上でマイナスとなっているものの、前回調査と比較すると全ての年代で改善した（図表2）。

(2) 今後の暮らし向き

今後の暮らし向きについては「変わらない」が65.8%と最も多く、次いで「悪くなる」25.7%（「悪くなる」と「やや悪くなる」の合計）、「良くなる」8.5%（「良くなる」と「やや良くなる」の合計）の順となった（図表3）。D.I.は▲17.2となり、前回調査の▲38.4から21.2ポイント改善したものの、依然としてマイナス圏内で推移しており、現在の暮らし向きより見方は厳しい結果となった。D.I.を年代別にみると、20代以上の全ての年代でマイナスとなった（図表4）。一方で、20代以上の全ての年代で前回調査より改善しており、前回調査（1回目の緊急事態宣言解除後）と比較すると先行きに対する不安が弱まったことがうかがえる。

将来の不安要素については、「年金問題」が42.8%と最も多く、以下、「医療・介護費の負担増」（41.5%）、「税金・社会保障の負担増」（41.3%）の順となっている

(図表 5)。特に「医療・介護費の負担増」は前回調査時の 36.0%から 5.5 ポイント上昇し、2 番目に多かった。新型コロナウイルスの影響がうかがえた。年代別にみると、20代は「年金問題」、30～40代は「税金・社会保障の負担増」、50代以上では「医療・介護費の負担増」が最多となっている。

(3) 収入

1年前と比較した収入は「変わらない」が 64.7%と最も多く、次いで「減った」19.0%（「減った」と「やや減った」の合計）、「増えた」16.3%（「増えた」と「やや増えた」の合計）の順となった（図表 6）。D.I.は▲2.7と前回調査から 1.3 ポイント改善した。

D.I.を年代別にみると、10～30代で前回調査より悪化した（図表 7）。

また、**今後の収入の増減**については「変わらない」が 63.8%と最も多く、次いで「減る」27.1%（「減る」と「やや減る」の合計）、「増える」9.1%（「増える」と「やや増える」の合計）となり、D.I.は▲18.0だった（図表 8）。

年代別にみると、30代以上では全ての年代でマイナスになり、特に 50代の D I 水準が低かった（図表 9）。中高年層で先行きの収入に対する不安が大きいことがうかがえる。

(4) 支出

1年前と比較した支出は「変わらない」が 48.5%と最も多く、次いで「増えた」38.3%（「増えた」と「やや増えた」の合計）、「減った」13.2%（「減った」と「やや減った」の合計）が続いた（図表 10）。D.I.は 25.1と前回調査（30.2）から低下した。19年5月調査以降3回連続下落し、支出を抑えようとする傾向が続いている。

年代別にみると、40代以外の全ての年代で D.I.が低下した（図表 11）。

また、**今後の支出の増減**については「変わらない」が 46.6%と最も多く、次いで「増える」（「増える」と「やや増える」の合計）が 42.2%、「減る」11.2%（「減る」と「やや減る」の合計）となり、D.I.は 31.0だった（図表 12）。

年代別にみると、10代以外の全ての年代で D.I.はプラスになり、先行きの支出増加への懸念が大きいことがうかがえる（図表 13）。

2. コロナ下での消費行動について

(1) 買い物の際に心掛けていること

買い物の際に心掛けていることについては、「不要不急の買い物は控えている」が60.7%と最も多く、次いで「近場の店で買い物している」(48.4%)、「無駄な出費を控えるようにしている」(39.3%)、「ネットで購入する頻度を増やしている」(35.7%)などが続いた(図表14)。

(2) 新型コロナウイルス感染拡大以降の支出について

新型コロナウイルス感染拡大以降、支出が増えた品目については、「水道光熱費」(36.4%)、「ネット配信サービス」(35.9%)などが多かった(図表15)。前回調査と比較すると、「ネット配信サービス」が21.6ポイント増加、「水道光熱費」が6.4ポイント増加などとなった。一方、「飲食料品」や「日用品」、「医薬品」は前回から大きく減少した。

新型コロナウイルス感染拡大以降、減った品目については、「外食・交際費」(78.1%)、「交通費・旅費」(75.6%)が多かった(図表16)。前回調査と比較すると、「交通費・旅費」が30.1ポイント増加、「飲食料品」が20.4ポイント増加などとなった。

外出自粛や在宅勤務の広がりから、おうち時間が増えたことで水道光熱費やネット配信サービスといった支出が増加した半面、外食や交通費など外出を伴う支出は大きく減少した。また、昨年の感染拡大初期に見られた食品や日用品、マスクなどの医薬品の買いだめ行動は沈静化した。

(3) 新型コロナウイルス収束後の支出について

新型コロナウイルス感染拡大収束後の支出について、現在よりも「増やす・増やしたい」品目は「交通費・旅費」(52.9%)が最も多く、「外食・交際費」(51.6%)、「貯蓄・投資」(30.1%)が続いた(図表17)。コロナ下で抑えている外出を伴う消費への切望がみられる。一方、他の品目はコロナ収束後の消費支出は「変わらない」が大部分を占めている。巣ごもりで需要が大きく伸びた水道光熱費やネット配信サービスなどはコロナ収束後も高水準で推移するとみられる。

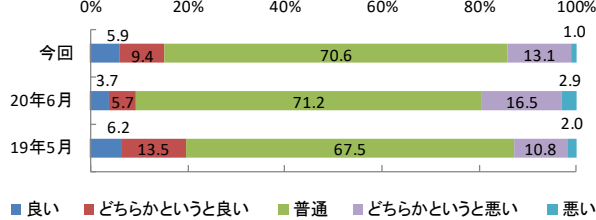
以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)

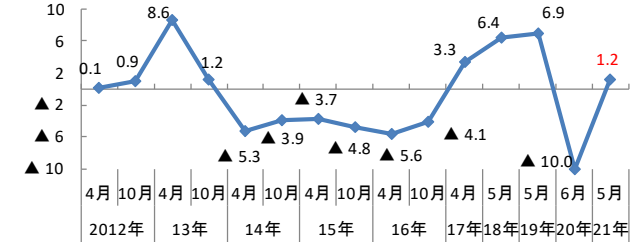
図表1 現在の暮らし向き

項目	19年5月	20年6月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
良い	6.2	3.7	5.9	2.2
どちらかというが良い	13.5	5.7	9.4	3.7
普通	67.5	71.2	70.6	▲0.6
どちらかというが悪い	10.8	16.5	13.1	▲3.4
悪い	2.0	2.9	1.0	▲1.9
D. I.	6.9	▲10.0	1.2	11.2

上記をグラフ化



現在の暮らし向きD.I.の推移



注) 16年までは年2回調査実施、17年以降は年1回調査に変更。図表11まで同じ

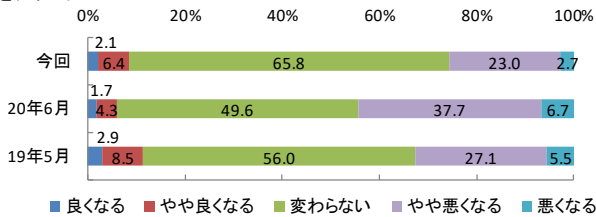
図表2 現在の暮らし向きD. I. (年代別)

年代	19年5月	20年6月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	6.9	▲10.0	1.2	11.2
10代	16.7	20.0	22.2	2.2
20代	27.6	11.3	17.9	6.6
30代	8.5	▲11.3	1.5	12.8
40代	2.2	▲19.0	▲1.3	17.7
50代	▲7.0	▲20.6	▲10.4	10.2
60代	3.4	▲10.4	1.1	11.5
70代以上	6.2	▲8.0	▲4.0	4.0

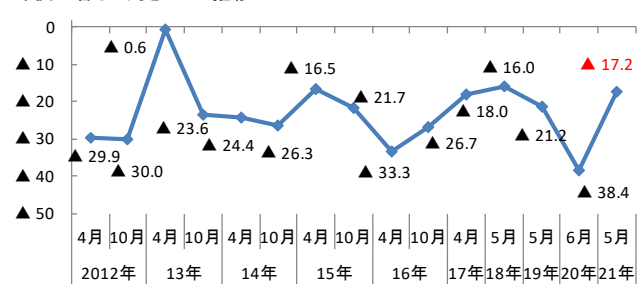
図表3 今後の暮らし向き

項目	19年5月	20年6月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
良くなる	2.9	1.7	2.1	0.4
やや良くなる	8.5	4.3	6.4	2.1
変わらない	56.0	49.6	65.8	16.2
やや悪くなる	27.1	37.7	23.0	▲14.7
悪くなる	5.5	6.7	2.7	▲4.0
D. I.	▲21.2	▲38.4	▲17.2	21.2

上記をグラフ化



今後の暮らし向きD.I.の推移

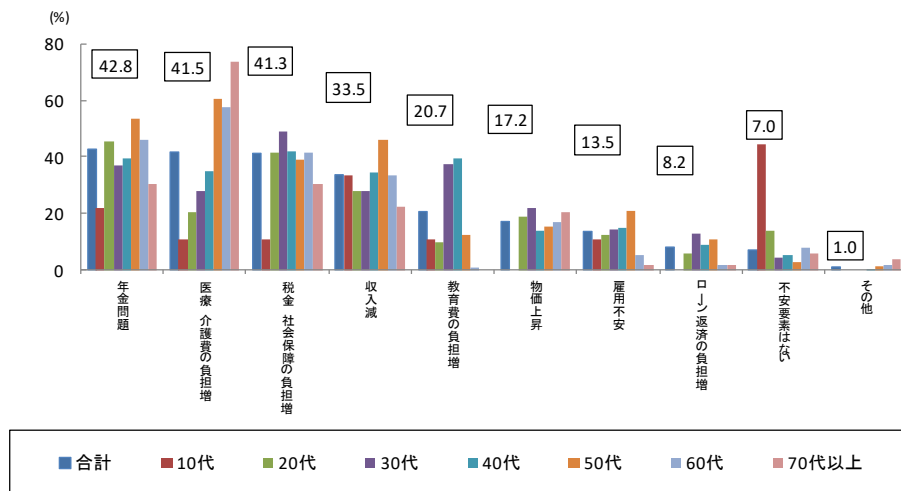


図表4 今後の暮らし向きD.I.(年代別)

年代	19年5月	20年6月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	▲21.2	▲38.4	▲17.2	21.2
10代	0.0	30.0	22.2	▲7.8
20代	0.6	▲11.4	▲0.7	10.7
30代	▲15.8	▲27.0	▲10.4	16.6
40代	▲23.0	▲50.0	▲22.9	27.1
50代	▲30.8	▲60.6	▲29.6	31.0
60代	▲43.6	▲46.8	▲15.5	31.3
70代以上	▲31.3	▲42.8	▲29.1	13.7

注) 図表によっては四捨五入の関係上、合計が100にならない場合がある。

図表5 将来の不安要素



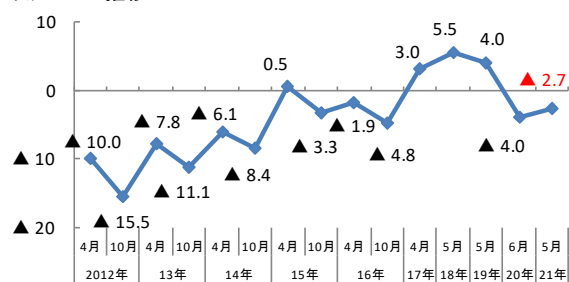
注) 複数回答、数値は全体

図表6 収入

項目	19年5月	20年6月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
増えた		4.3	3.6	▲ 0.7
やや増えた	16.9	14.7	12.7	▲ 2.0
変わらない	70.2	58.0	64.7	▲ 6.7
やや減った	12.9	18.4	13.6	▲ 4.8
減った		4.6	5.4	▲ 0.8
D. I.	4.0	▲ 4.0	▲ 2.7	▲ 1.3

注) 前回調査から「やや増えた」「やや減った」を追加

収入D.I.の推移



図表7 収入D. I. (年代別)

年代	19年5月	20年6月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	4.0	▲ 4.0	▲ 2.7	▲ 1.3
10代	16.7	60.0	55.5	▲ 4.5
20代	28.0	21.8	18.6	▲ 3.2
30代	8.5	10.5	0.0	▲ 10.5
40代	10.3	▲ 4.2	2.4	▲ 6.6
50代	▲ 7.0	▲ 20.5	▲ 17.9	▲ 2.6
60代	▲ 24.4	▲ 32.5	▲ 15.4	▲ 17.1
70代以上	▲ 40.6	▲ 34.0	▲ 24.5	▲ 9.5

図表8 今後の収入 (%)

項目	今回
増える	1.5
やや増える	7.6
変わらない	63.8
やや減る	21.8
減る	5.3
D. I.	▲ 18.0

図表9 今後の収入D. I. (年代別)

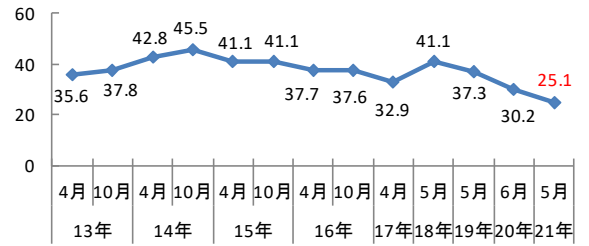
年代	今回
全体	▲ 18.0
10代	11.1
20代	2.4
30代	▲ 7.5
40代	▲ 15.3
50代	▲ 35.1
60代	▲ 28.8
70代以上	▲ 41.7

図表10 支出

項目	19年5月	20年6月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
増えた		8.6	6.7	▲ 1.9
やや増えた	43.7	33.2	31.6	▲ 1.6
変わらない		46.6	48.5	1.9
やや減った	6.4	9.1	11.2	2.1
減った		2.5	2.0	▲ 0.5
D. I.	37.3	30.2	25.1	▲ 5.1

注) 前回調査から「やや増えた」「やや減った」を追加

支出D.I.の推移



図表11 支出D. I. (年代別)

年代	19年5月	20年6月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	37.3	30.2	25.1	▲ 5.1
10代	20.0	30.0	▲ 33.3	▲ 63.3
20代	43.7	29.3	26.0	▲ 3.3
30代	52.9	39.7	36.1	▲ 3.6
40代	44.8	36.8	44.3	7.5
50代	25.9	28.0	20.7	▲ 7.3
60代	16.1	18.2	▲ 2.3	▲ 20.5
70代以上	0.0	8.0	2.0	▲ 6.0

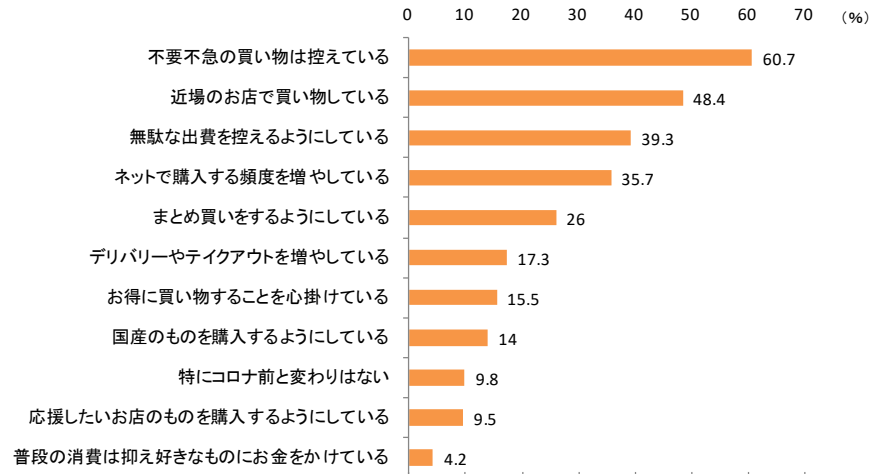
図表12 今後の支出 (%)

項目	今回
増える	10.5
やや増える	31.7
変わらない	46.6
やや減る	8.7
減る	2.5
D. I.	31.0

図表13 今後の支出D. I. (年代別)

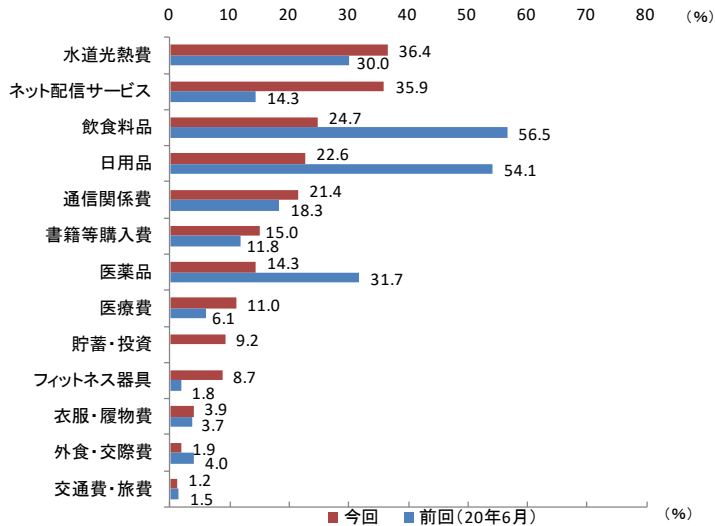
年代	今回
全体	31.0
10代	▲ 11.1
20代	23.6
30代	47.8
40代	49.4
50代	24.9
60代	5.5
70代以上	16.3

図表14 新型コロナウイルス感染拡大以降、買い物の仕方について



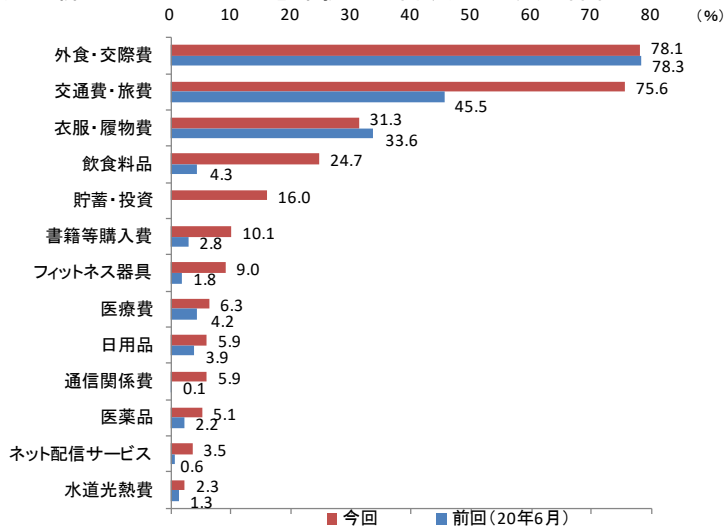
注)3つまで回答

図表15 新型コロナウイルス感染拡大以降、増えた支出品目

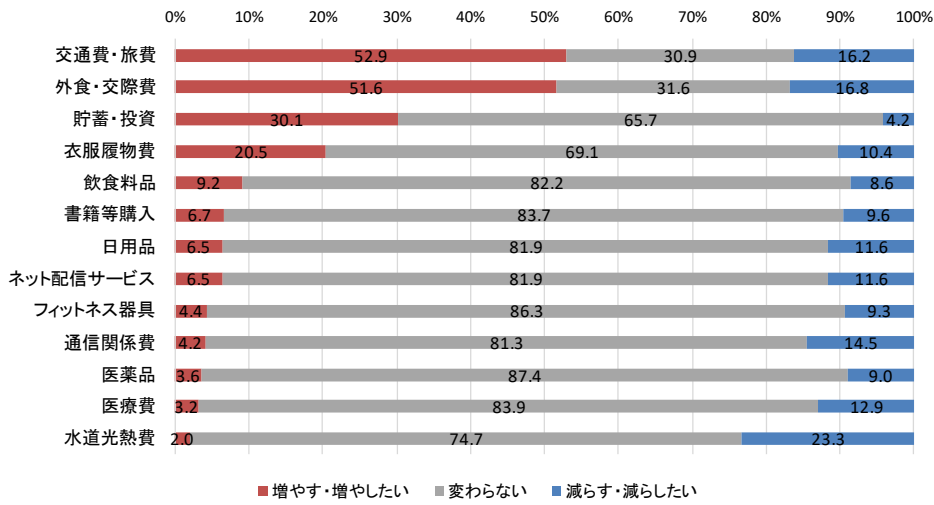


注)貯蓄・投資は21年より項目追加、図表16も同じ

図表16 新型コロナウイルス感染拡大以降、減った支出品目



図表17 新型コロナウイルス収束後の支出変化



注) 今回調査時点(21年5月)との比較